



コーポレート部門に所属し、国際貿易法務グループ共同責任者を務める。貿易救済措置、貿易ポリシー、関税問題等を含む国際貿易に関し、政府、貿易団体、民間企業を代表。連邦政府での任務経験を生かし、連邦政府、外国政府との法務でクライアントをサポートしている。

商務省輸入局で次官補を務め、反ダンピング法、相殺関税法をはじめとする貿易救済措置関連で政府を率いた経験を持つ。また外国貿易ゾーンのシステム管理、衣料品貿易ポリシーの監督、衣料品貿易に関する法令制定、WTO(国際貿易機関)での貿易救済措置の交渉マネージメント、WTOでの紛争解決等を手がけ、米中交渉ではマクロ経済政策、鉄鋼業の交渉で議長を務め、米国商務省輸入安全性イニシアティブを監督した。

商務省次官補任命以前は、USTR(米国通商代表部)でテキスタイル&アパレル交渉担当長及び過渡的調整者を務めた。また、USTRでは中米、ドミニカ共和国、シンガポール、オーストラリア、チリ、パナマ、バーレーン、アラブ首長国連邦、コロンビア、ペルーとの自由貿易条約交渉で中心的役割を果たし、主に関税強化、衣料品テキスタイル業界、原産国問題、セーフガードなどについての交渉を行った。特にブッシュ政権における貿易関連法案の議会通過に重要なサポート役を果たした。また中国との複雑な衣料品貿易協定でも交渉役を務め、関税に関する協約締結を果たし、他諸国とも供給量割当協約の締結を果たしている。

USTR以前には連邦議会議員のワシントンDC事務所運営、管理、立法担当官、報道官、また下院農業委員会の報道官、下院議事規則委員会メンバーを務めた。

業界イベントでの講演の機会も多く、特に小売業者、アパレルブランドの問題に関する講師として知られている。また、貿易救済措置関連の紛争、貿易協定等に関する意見は多くの報道に取り上げられている。

デビッド スプーナー

パートナー

555 12th Street N.W.
Suite 1200
Washington, D.C. 20004-1275

P 202-371-6377
F 202-289-1330
david.spooner@btlaw.com

学歴

University of Virginia, (B.A.)

College of William and Mary Law
School, (J.D.)

弁護士資格

ワシントンD.C.

バージニア

裁判所活動資格

U.S. Court of Appeals for the Federal
Circuit

U.S. Court of International Trade

言語

英語

取扱分野

コーポレート

コンプライアンス・モニターシップ

国際法務

国際貿易

日系企業サービス

米国輸出規制

関連業種、業界

メーカー、製造業

政府関連

政府関連、公的ファイナンス

農業、食品